

平成24年度 標茶町病院事業会計決算審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

平成24年度標茶町病院事業会計決算

2 審査の期間

平成25年6月25日

3 審査の書類

(1) 決算報告書

(2) 財務諸表

ア 損益計算書

イ 剰余金計算書

ウ 欠損金処理計算書

エ 貸借対照表

(3) 附属書類

ア 事業報告書

イ 収益費用明細書

ウ 固定資産明細書

エ 企業債明細書

4 審査の方法

審査にあたっては、送付を受けた決算報告書、財務諸表及び事業報告書等の附属書類について、関係諸帳簿の照合とともに、関係法令に準拠して作成され、当事業の経営成績並びに財政状況を適正に表示されているか否か、予算執行の適否等についても内容説明を求め審査を実施した。

第2 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表等は、関係法令に準拠して作成されており、決算の諸計数はいずれも正確であるとともに、平成25年3月31日現在における財政状況及び経営成績を適正に表示されているものと認められた。

財務事務については、総体として適正に執行されたものと認められる。

審査結果の概要は以下のとおりである。

1 予算執行状況

本年度の予算執行状況は次表のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出について

収益的収支の状況

(単位:円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率		予算額に比べ決算額 の増減及び不用額	
			H24年度	H23年度		
収 入	医業収益	698,130,000	(709,789,000) 707,252,912	(101.7) 101.3	(106.7) 106.2	(11,659,000) 9,122,912
	入院収益	428,800,000	(435,294,755) 435,291,884	(101.5) 101.5	(105.8) 105.8	(6,494,755) 6,491,884
	外来収益	215,574,000	(215,049,284) 215,022,566	(99.8) 99.7	(103.1) 103.0	(△ 524,716) △ 551,434
	その他医業収益	53,756,000	(59,444,961) 56,938,462	(110.6) 105.9	(128.2) 122.8	(5,688,961) 3,182,462
	医業外収益	507,598,000	(461,119,879) 460,901,336	(90.8) 90.8	(90.3) 90.3	(△ 46,478,121) △ 46,696,664
	受取利息配当金	4,540,000	(4,532,991) 4,532,991	(99.8) 99.8	(99.6) 99.6	(△ 7,009) △ 7,009
	他会計補助金	104,947,000	(70,845,000) 70,845,000	(67.5) 67.5	(79.0) 79.0	(△ 34,102,000) △ 34,102,000
	他会計負担金	391,497,000	(379,399,000) 379,399,000	(96.9) 96.9	(94.5) 94.5	(△ 12,098,000) △ 12,098,000
	患者外給食収益	2,646,000	(2,260,360) 2,152,724	(85.4) 81.4	(84.4) 80.4	(△ 385,640) △ 493,276
	その他医業外収益	3,968,000	(4,082,528) 3,971,621	(102.9) 100.1	(105.8) 103.1	(114,528) 3,621
	特別利益	3,707,000	(3,716,670) 3,716,670	(100.3) 100.3	— —	(9,670) 9,670
	固定資産売却益	3,707,000	(3,716,670) 3,716,670	(100.3) 100.3	— —	(9,670) 9,670
	収入合計	1,209,435,000	(1,174,625,549) 1,171,870,918	(97.1) 96.9	(99.0) 98.8	(△ 34,809,451) △ 37,564,082
支 出	医業費用	1,158,186,000	(1,110,489,981) 1,097,659,822	(95.9) 94.8	(97.4) 96.2	(47,696,019) 60,526,178
	給与費	785,220,000	(765,250,382) 765,033,419	(97.5) 97.4	(97.9) 97.9	(19,969,618) 20,186,581
	材料費	124,000,000	(112,730,075) 107,361,976	(90.9) 86.6	(96.3) 91.7	(11,269,925) 16,638,024
	経 費	167,010,000	(152,607,179) 145,522,923	(91.4) 87.1	(95.1) 90.7	(14,402,821) 21,487,077
	減価償却費	74,681,000	(74,679,460) 74,679,460	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(1,540) 1,540
	資産減耗費	1,865,000	(1,626,730) 1,626,730	(87.2) 87.2	(100.1) 100.1	(238,270) 238,270
	研究研修費	5,410,000	(3,596,155) 3,435,314	(66.5) 63.5	(77.1) 73.5	(1,813,845) 1,974,686
	医業外費用	50,749,000	(50,655,152) 61,739,080	(99.8) 121.7	(100.0) 123.0	(93,848) △ 10,990,080
	支払利息及び企業債取扱諸費	47,369,000	(47,368,952) 47,368,952	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0	(48) 48
	患者外給食材料費	1,980,000	(1,909,000) 1,818,095	(96.4) 91.8	(100.0) 95.2	(71,000) 161,905
	消費税	1,400,000	(1,377,200) 1,377,200	(98.4) 98.4	(100.0) 100.0	(22,800) 22,800
	雑損失	0	(0) 11,174,833	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0) △ 11,174,833
	予備費	500,000	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(0.0) 0.0	(500,000) 500,000
支出合計	1,209,435,000	(1,161,145,133) 1,159,398,902	(96.0) 95.9	(97.5) 97.4	(48,289,867) 50,036,098	
(差引額) 当年度純利益	—	(13,480,416) 12,472,016	— —	— —	— —	

<注>; 上段 () 内の数値並びに割合は消費税込みの金額

本年度の予算執行状況は、収入においては予算額 1,209,435,000 円に対し、決算額は 1,174,625,549 円、執行率 97.1%で、予算額に対し差引 34,809,451 円の減となっている。

支出については予算額 1,209,435,000 円に対し、決算額は 1,161,145,133 円で、執行率は 96.0%である。

不用額 48,289,867 円の内訳は、医業費用では給与費、材料費、経費等で 47,696,019 円、医業外費用が 93,848 円、予備費は 500,000 円となっている。

(2) 資本的収入及び支出

収入においては、予算額 197,000 円に対し決算額は 187,970 円で、その内容は固定資産売却益である。

支出については、予算額 108,953,000 円に対し、決算額は 108,951,638 円で執行率は 100.0%である。支出額に対し収入額が 108,763,668 円不足しているが、この不足額は、過年度分損益勘定留保資金 108,763,668 円で補填されている。

支出の内容は、建設改良費 21,176,400 円、企業債償還金が 87,775,238 円となっている。

資本的収支の状況

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率		予算に比べ決算額の増減及び不用額
			H24 年度	H23 年度	
収入	197,000	(187,970)	(95.4)	(0.0)	(△9,030)
		187,970	95.4	0.0	△9,030
投資	0	(0)	(0.0)	(100.0)	(0)
		0	0.0	100.0	0
資本的収入合計	197,000	(187,970) 187,970	(95.4) 95.4	(100.0) 100.0	(△9,030) △9,030
支出	21,177,000	(21,176,400)	(100.0)	(100.0)	(600)
		20,168,000	95.2	95.2	1,009,000
		(87,775,238)	(100.0)	(100.0)	(762)
企業債償還金	87,776,000	87,775,238	100.0	100.0	762
その他固定負債償還金	0	(0)	(0.0)	(100.0)	(0)
		0	0.0	100.0	0
資本的支出合計	108,953,000	(108,951,638) 107,943,238	(100.0) 99.1	(100.0) 98.3	(1,362) 1,009,762
差引額	—	(△108,763,668) △107,755,268	—	—	—

<注>：上段（ ）内の数値は消費税込みの金額

(3) その他の予算事項

地方公営企業法施行令第17条に規定する、予算に係る主な事項の執行状況は次のとおりである。

ア 起債の利率及び償還の方法は、予算に定められた範囲で執行されている。

なお、本年度において企業債は発行されていない。

イ 議会の議決を経なければ流用することのできない経費は、給与費 785,220,000 円、交際費 1,500,000 円であるが、いずれも予算の範囲内で執行されている。

ウ 他会計からの繰入金

一般会計から補助、負担をうける予算金額 496,444,000 円に対し、決算額は 450,244,000 円で、いずれも予算の範囲内で執行されている。

2 経営状況

(1) 経営成績

損益計算書に示されているとおり（記述並びに図表の数値は消費税抜きの金額で表示しています。）本年度の総収益は 1,171,870,918 円、総費用 1,159,398,902 円で純利益 12,472,016 円を計上している。

収益、費用を前年度と比較すると、総収益は 13,056,040 円の増、総費用も 16,199,215 円の増となり、純利益は前年度より 3,143,175 円の減となっている。医業収支でみると収益 707,252,912 円に対し、費用は 1,097,659,822 円で差引 390,406,910 円の医業収益不足となる。

当年度利益剰余金は、前年度繰越欠損金に当年度純利益が加算され 324,629 円の計上となったことから、当年度未処理欠損金は皆減された。

なお、経営成績及び主な利益指標の推移は次のとおりである。

経営成績の推移

（単位：円・％）

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度	平成 21 年度	平成 20 年度
総収益	1,171,870,918	1,158,814,878	1,122,844,899	1,085,279,247	1,084,424,147
うち医業収益	707,252,912	663,047,327	598,699,252	670,613,456	645,566,988
総費用	1,159,398,902	1,143,199,687	1,107,800,614	1,069,067,178	1,056,455,608
うち医業費用	1,097,659,822	1,077,051,251	1,012,561,801	998,781,581	982,027,433
当年度純利益	12,472,016	15,615,191	15,044,285	16,212,069	27,968,539
前年度繰越欠損金	12,147,387	27,762,578	42,806,863	59,018,932	86,987,471
当年度未処理欠損金	—	12,147,387	27,762,578	42,806,863	59,018,932
当年度利益剰余金	324,629	—	—	—	—
経常収支比率	101.1	101.4	101.4	101.5	102.6
医業収支比率	64.4	61.6	59.1	67.1	65.7

（数値は消費税抜き）

(2) 業務量（患者数）の状況

患者数は、入院患者が年間延べ 15,677 人で 1 日平均 43.0 人、前年度と比較すると 1,084 人増加し、外来患者数は年間 38,551 人で 1 日平均 158.0 人、前年度と比較すると 37 人の増加となっている。

患者一人当たりの診療収入は、入院患者が 27,766 円で前年度と比較すると 1,495 円の増加、外来患者は 5,578 円で前年度と比較すると 59 円の減少であった。

ア 診療日数

(単位：日)

区 分	平成 24 年度 (A)	平成 23 年度 (A)	差引 (A) - (B)
入 院	365	366	△1
外 来	244	244	0

イ 入院患者数

(単位：人)

区 分	平成 24 年度 (A)		平成 23 年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均
内 科	13,525	37.1	12,846	35.2	679	1.9
外 科	1,767	4.8	1,221	3.3	546	1.5
産婦人科	385	1.1	526	1.4	△141	△0.3
合 計	15,677	43.0	14,593	39.9	1,084	3.1

ウ 病床の利用状況

*病床は全て一般病床

区 分	平成 24 年度	平成 23 年度	比 較
病床数 (床)	60	60	0
年間延病床数 (床)	21,900	21,960	△60
年間患者数 (人)	15,677	14,593	1,084
病床利用率 (%)	71.6	66.5	5.1

エ 外来患者数

(単位：人)

区 分	平成 24 年度 (A)		平成 23 年度 (B)		差引 (A) - (B)	
	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均	延べ数	1 日平均
内 科	24,850	101.8	24,616	100.9	234	0.9
外 科	10,231	41.9	10,572	43.3	△341	△1.4
産婦人科	1,699	7.0	1,878	7.7	△179	△0.7
小 児 科	1,771	7.3	1,448	5.9	323	1.4
合 計	38,551	158.0	38,514	157.8	37	0.2

オ 患者一人 1 日当り診療収入

(単位：円)

区 分	平成 24 年度 (A)	平成 23 年度 (B)	差引 (A) - (B)
入 院	27,766	26,271	1,495
外 来	5,578	5,637	△59

(3) 収益

本年度の総収益は、1,171,870,918円で、前年度(1,158,814,878円)に比較すると13,056,040円の増加となった。

内容は、医業収益が707,252,912円で前年度(663,047,327円)に比し、44,205,585円の増となっている。主なものは、入院収益が51,914,555円の増であった。

医業外収益460,901,336円は、前年度(495,767,551円)に比較し、34,866,215円の減となっている。これは主に他会計補助金48,325,000円の減、他会計負担金15,225,000円の増によるものであった。

また、特別利益は、前年度においては無いため、本年度(3,716,670円)は皆増となっている。

収益の内訳

(単位：円・%)

区 分	平成24年度(A)		平成23年度(B)		差引(A)-(B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年比
医業収益	707,252,912	60.4	663,047,327	57.2	44,205,585	106.7
入院収益	435,291,884	37.1	383,377,329	33.1	51,914,555	113.5
外来収益	215,022,566	18.4	217,100,269	18.7	△2,077,703	99.0
その他医業収益	56,938,462	4.9	62,569,729	5.4	△5,631,267	91.0
医業外収益	460,901,336	39.3	495,767,551	42.8	△34,866,215	93.0
受取利息配当金	4,532,991	0.4	6,303,000	0.5	△1,770,009	71.9
他会計補助金	70,845,000	6.0	119,170,000	10.3	△48,325,000	59.4
他会計負担金	379,399,000	32.4	364,174,000	31.4	15,225,000	104.2
患者外給食収益	2,152,724	0.2	2,126,181	0.2	26,543	101.2
その他医業外収益	3,971,621	0.3	3,994,370	0.4	△22,749	99.4
特別利益	3,716,670	0.3	—	—	3,716,670	皆増
固定資産売却益	3,716,670	0.3	—	—	3,716,670	皆増
総収益	1,171,870,918	100.0	1,158,814,878	100.0	13,056,040	101.1

(数値は消費税抜き)

(4) 費用

総費用は、1,159,398,902円で、前年度(1,143,199,687円)に比較して16,199,215円の増加となった。

内容は、医業費用が1,097,659,822円で前年度(1,077,051,251円)に比し、20,608,571円の増となっている。これは主に給与費27,202,405円の増、材料費5,711,728円、減価償却費1,053,303円等の減によるものである。

医業外費用は、61,739,080円で前年度(66,148,436円)に比し、4,409,356円の減となっている。これは支払利息及び企業債取扱諸費2,968,598円、雑損失1,277,863円等の減によるものである。

費用の内訳

(単位：円・%)

区 分	平成 24 年度 (A)		平成 23 年度 (B)		差 引 (A) - (B)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年比
医業費用	1,097,659,822	94.7	1,077,051,251	94.2	20,608,571	101.9
給与費	765,033,419	66.0	737,831,014	64.5	27,202,405	103.7
材料費	107,361,976	9.3	113,073,704	9.9	△5,711,728	94.9
経 費	145,522,923	12.6	145,128,725	12.7	394,198	100.3
減価償却費	74,679,460	6.4	75,732,763	6.6	△1,053,303	98.6
資産減耗費	1,626,730	0.1	1,306,250	0.1	320,480	124.5
研究研修費	3,435,314	0.3	3,978,795	0.4	△543,481	86.3
医業外費用	61,739,080	5.3	66,148,436	5.8	△4,409,356	93.3
支払利息及び企業 債取扱諸費	47,368,952	4.1	50,337,550	4.4	△2,968,598	94.1
患者外給食材料費	1,818,095	0.1	1,856,190	0.2	△38,095	97.9
消費税	1,377,200	0.1	1,502,000	0.1	△124,800	91.7
雑損失	11,174,833	1.0	12,452,696	1.1	△1,277,863	89.7
総費用	1,159,398,902	100.0	1,143,199,687	100.0	16,199,215	101.4

(数値は消費税抜き)

3 財政状況

貸借対照表に示されている資産、負債、資本の内容は次のとおりである。(記述の数値は消費税抜きで表示しています。)

<資産>

本年度の資産総額は、2,559,647,719 円で、前年度 (2,644,742,806 円) に比し、85,095,087 円減少した。

総資産のうち有形固定資産は、土地、建物、構築物、器械・備品、車両で 1,926,958,912 円、前年度 (1,983,285,072 円) と比較して 56,326,160 円の減少である。無形固定資産は電話加入権 388,032 円、投資は、一般会計への長期貸付金 400,000,000 円で、固定資産の合計額は 2,327,346,944 円となった。

流動資産の合計は 232,300,775 円で、前年度 (261,069,702 円) に比し 28,768,927 円の減少である。内訳は、現金・預金は 49,586,489 円の減、未収金は 23,114,067 円の増、貯蔵品は 2,296,505 円の減となっている。

なお、当年度において患者医療費未収金の不納欠損処分による債権消滅は無い。

＜負債＞

負債合計 77,007,706 円は、前年度 (86,799,571 円) に比し 9,791,865 円減少している。内訳は、流動負債が前年度に比し 9,791,865 円減少となっている。

＜資本＞

資本金は、自己資本金が 900,387,743 円、借入資本金 (企業債未償還残高) が 1,312,895,641 円で合計 2,213,283,384 円となっており、前年度 (2,301,058,622 円) に比し 87,775,238 円の減である。

剰余金は、資本剰余金が 269,032,000 円で前年度 (269,032,000 円) と同額、欠損金は、前年度に比し皆減、利益剰余金は、前年度に無いため本年度 (324,629 円) は皆増となり、剰余金合計は 269,356,629 円となっている。

当年度末の資本合計は 2,482,640,013 円で前年度 (2,557,943,235 円) に比し 75,303,222 円の減となった。

むすび

以上、予算執行、経営状況、財政状況にわたる計数の表示と所見を述べてまいりましたが、総括として次のとおり審査結果意見を申し上げます。

平成 24 年度病院事業は、町民の健康保持に必要な医療を提供するため、内科、外科、産婦人科、小児科、リハビリテーション科により、その経営に当たっている。

当年度の業務量は、入院延患者数 15,677 人 (前年度 14,593 人)、外来延患者数 38,551 人 (前年度 38,514 人) で、前年度と比較すると入院は 1,084 人と大幅に増加し、外来では 37 人の微増となった。

これらに従事する職員は平成 25 年 3 月 31 日現在、94 人 (内 29 人は嘱託、非常勤・臨時職員) で、前年度比較では作業療法士の採用等により 1 人増員となった。

経営成績は、総収益 1,171,870,918 円、総費用 1,159,398,902 円で差引純利益 12,472,016 円が計上されている。

医業収支では、医業収益 707,252,912 円、医業費用 1,097,659,822 円で、差引 390,406,910 円費用が上回っているが、一般会計繰入金 (補助金と負担金) 450,244,000 円 (前年度 483,344,000 円) を主なものとする医業外収益によって、当年度純利益 12,472,016 円が計上された。当年度純利益を前年度繰越欠損金に充てた結果、過年度繰越欠損金が全額解消され、当年度利益剰余金 324,629 円が計上された。過年度繰越欠損金が解消されたことは、経営努力の結果であり、今後も財政の健全化に期待する。

また、医業収益は前年度比 106.7% であり、主な要因は入院基本料 10 対 1 の維持に加え、入院患者数の大幅な増加であり、医業費用は前年度比 101.9% で医師派遣等の人件費の増加が主な要因であります。医業収支は入院患者数、入院基本料等の変動がより大きく影響を及ぼすことから、医師、看護師、病院職員が一丸となって医業収益の確保、更には、病院経営の安定に努力されることを期待する。

資本的収支については、支出の器械、備品購入、企業債償還金等 108,951,638 円は、

固定資産売却 189,970 円を財源に充当し、その不足額は過年度分損益勘定留保金 108,763,668 円で補填されている。

自治体病院を取り巻く医療環境は、医師確保、診療報酬改定等で厳しい状況にありますが、自治体病院は、「地域住民の命、健康、暮らしを守る」地域の財産であることから、病院関係者をはじめ、行政や住民が一体となって病院づくりに取り組み、住民の期待に応えることができるよう一層の経営努力を望む。